

実いある2学期に!!



今川小学校の教室に子どもたちの声が戻ってきました。夏休みを元気に過ごし、一回り大きくなった子どもたちと「いよいよ2学期が始まった」ことを実感しているところです。

さて、2学期は、運動会、秋の校外学習等、行事が盛りだくさんです。学習にも運動にも、実りの多い2学期になりますよう、職員一同、心を引き締めて臨もうと考えています。今学期も、保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

子どもの思考を「できないかも」から「できるかも」へ

夏休みがあつという間に終わり、長い2学期が始まります。夏休みの間は、教職員もつかの間の休息をいただきつつ、日ごろ取り組めない指導法の研究や子どもとの関わり方など研究する機会をいただきました。私も近畿の全小学校校長会で、元阪神タイガース監督の矢野燿大さんの話を聞く機会をいただきました。矢野元監督からは、監督時代の指導や少年野球の指導で大切にしていることとして、「できないかも」の思考を「できるかも」に転換していくよう目の前の選手や子どもたちに説いている話がありました。臆することなく挑戦し、失敗を繰り返し、成功の糸口を探求することはスポーツに世界に限らず、どの世界でも通用するという話でした。子どもの成長を考えると周りの大人ができることは、子どもが頑張っている挑戦し続けるように、声をかけ、今できていることを称賛することです。一見簡単ようですが、じっと見ていないと称賛するポイントを見逃してしまいます。

2学期は、運動会をはじめ作品展や校外学習、5年生の自然体験学習など体育的行事や文化的行事があり、充実した学期になります。2学期に行われる学習をはじめ、行事等の教育活動で、全教職員で子どもたちに達成感や成就感を持たせたいと思います。そして、子ども自身が、自分のことを大切にする自尊感情を持たせたいと思います。また、友だちや周りの人を思いやる感情も同時に持たせたいと思います。この2つの感情は、表裏一体の関係でもあります。どちらか一方が欠けてもいけないと思います。



「できるかも」をいっぱいにするためのコツ

◎子どものじっくり見ること

まず、子どもの行動をよく観察するとよいと思います。「行動の変化」や「からだの反応」、「表情や会話」に注意してみてください。

対応の仕方を変えてみることも必要です。肯定的なコミュニケーションを心がけてみてはどうでしょうか。子どもの長所や得意なところを認め、子どもの感情を理解し受け止めてみてください。

◎子どもの話をとにかく聴くこと

忙しい時もあります。そのような時、「またあとでね!」と子どもに言ってしまいます。後で忘れずに必ず話を聞き、「教えてくれてありがとう」の一言をよろしくお願いします。

◎一人で悩まず信頼できる誰かに相談すること

子どもの対応する場合、上手くいかない場合が多いです。そのような時、情けなく思ったり、恥ずかしいと感じたりするかもしれません。そんな時は一人で抱え込まず、信頼できる人や先生、関係諸機関に相談してみましょう。自分一人では気付かなかった視点や対応に気付くことがあります。

◎上手くいかない場合、教員や保護者は、自分自身を責め過ぎないことです。やりたいことに向かって自己決定できるように、大人が仕向けずにじっくり見守りましょう。

2学期も学校と保護者・地域でスクラムを組み、子どもの成長を促していきましょう。

校長 吉川 秀樹

2学期の主な行事

学校公開・学習参観（在校生保護者と令和8年度入学生保護者対象） 9月5日（金） 9：40～10：25

就学時健康診断〔令和8年度入学生〕 10月2日（木）

自然体験学習（5年） 10月15日（水）～16日（木）

運動会（午前中） 11月1日（土） 【予備日11月6日（木）】

学期末個人懇談会 12月16日（火）・17日（水）・18日（木）・19日（金）

※ 作品展は、学期末懇談会中に実施予定です。